山崎新聞

發行日 3. 10. 18. 25.
定價 一部金5錢 郵稅5厘
六ヶ月前金郵稅共 金九十錢
壹ヶ年前金同 一圓八十錢
廣告料 五號十四字詰一行 金五拾錢 特別廣告倍額
發行兼編輯印刷人 本條俊一
兵庫縣山崎町二一七
發行所 山崎新聞社

刀劍鑑定會後談
名刀續々現る

刀劍鑑定會は、既報の通り去る十七日快晴にめぐまれて、武德殿に於て加島大阪刀劍會長鑑定のもとに、午前九時より開會され、千種村小島氏をイの一番として續々搬入合計百四十八腰内正眞刀百十一、僞物二十一、赤錆無銘のため鑑定不能の物十六であつたが、場内の名刀展入場者と共に、混雜を呈する盛況であつた。

鑑定依賴刀は、頗るウブの心地よき品多く、殊に續々名刀良刀の發見せられ、鑑定會をして頗る意義あらしめ折紙をつけし者一、小札三十九、鞘書一であつた。

其内最も逸品をあぐれば次の如くである、

○大和初代包永　小畑縣議藏

右は磨り上げながら在銘の二尺三寸餘の刀、本鑑定會受付け第一位の名刀である、實に神品標緻として侵すべからず。國寶姬路神社の同銘包永にまさる數段、國寶的存在である。

同氏はなほ此外に名刀十數本を所持鑑定を乞はれた主なるもの

○備前初代盛光、肥前平戶の貞宗、橫山大椽祐定の逸品肥前三代忠吉、そほろ助廣、筑前西蓮

等である。殊に西蓮は、名刀と共に、稀なる存在である、此他

○備前初代兼光　小川畜產技手藏

[illegible]大兼光である。身と鞘のみ半錆たる無銘の二尺餘寸、是を眞のはり出し物とこそ稱すべけれ。

○山城の了戒（刀）山崎校森谷先生藏○備中次吉（刀）備前應永の康光、三木章氏藏○備前應永康光、郡是山田淺治氏○山城達磨正光、妹尾孝太郎氏○越中國宗、肥前忠吉、小島新太郎氏○志津兼氏、山城源左衛門信國、前野善次郎氏○相州廣光、段彌太郎氏○越中國吉、志津兼氏、鎌田宇三郎氏○武藏長曾禰興正　關兼定城下村下阪氏○關二代兼元、片山角次郎氏○相州正廣、備前有國、同四代則光、同常永加賀藤島友重、他五本、拵付の大山揃にて裝金具等美麗極まる品岡田善吾氏○綾小路末行、武藏法城寺正弘、木庄英雄氏○宇津國光　國次、備前景光、平四郎信國、山岸清市郎氏○和泉守國貞、岡田佐市氏○備前盛光、板谷丈夫氏○關初代兼元、同和泉守兼定、備中吉次、備前與三左衛門祐定、古月山、土方梅吉氏○備前助包、關兼吉、木條猛二氏○大和手掻包清、越中國次、備中水田國重、山城吉次、關兼則、植木幾哉氏○關兼信、塚田清三郎氏○津田近江守助直、平安城長吉、相州正廣、加古義一氏

等であつた。

然し此他、天正祐定等の末備前古刀は三十餘本あり平關物も二十餘本あり、本郡には割合に古刀の多きを思はしめた。是によりて、日本刀愛護に新生面を開くを得ば國家的に見ても慶賀すべき事である、

光風會句稿

三月十六日夜南光坊別院にて句會を開く、集まる者三十六、一丘、竹軒、九亘子、雷草、魚梯、羊子、魚鳴、火口の九人持寄り兼題朝寢、櫻鯛、風車、清記互選披稿して得たる句

三十六

日曜に訪へば朝寢の障子かな
飴賣の團扇太皷や風車
枕べに歲時記おいて朝寢かな
俎にあまる尾鰭やさくら鯛

魚鳴

風車陽を彩りつ廻りけり
擔ひ行く風車それ〴〵廻りつゝ

一丘

生贄よりあげて潑溂さくら鯛
婚禮の歸り土產やさくら鯛

雷草

病める子に淋しくまわる風車
祝ひ膳半ばを領す櫻たい
枕元掃くをうつゝに朝寢哉

九亘子

日曜は雨になりたる朝寢かな

竹軒

走るにも危き子なり風車
カーテンは濃き水色に朝寢かな
風車壁にさゝれて色褪せぬ

羊子

風車口で吹き〳〵商へり
朝寢して味なき膳に向ひける
一つ廻ひ皆廻ひ初む風車

かくて更に席題雪崩、接木、子猫出題暫らく俳三昧に入り例の通り互選披稿左記の句を得た、

雷草

傘さして雨の接木を見て廻る
やると決てさて哀れなる子猫かな
午後の陽に接木の土のうす乾き

竹軒

汽車過ぎて間一髮の雪崩あり
炭小屋の一つは共に雪崩けり
掌を甜めて子猫可愛ゆく啼にけり

魚梯

猫の子の一かたまりに眠り居り
大雪崩かすかに搖る〻吊ランプ
捜らるゝ限りを捜せて捨子猫
もらはれて懷ろに鳴く子猫哉

魚鳴

接木する背に暖かき日差かな
接木人に答へ開けたる障子かな
卷終し藁散らばりし接木かな

九亘子

猫の子に赤き首輪の太きかな

三十六

くつ脫におりて啼きゐる子猫かな

羊子

爐話しの顏見合せぬ大雪崩
迷ひ來し小猫置く氣となりにけり
親猫を眞似て背をたつ小猫哉
接木する心となりし日和かな

一丘

柿苗を皆富有に接木せり

土工用
小枕搬出用
レール及トロッコ
重量物引揚用チエーンブロック
重量物取扱用三動ウインチ
傳谷庭赤
兵庫縣龍野町
青木安治郎商店
電話六一番

特別高級吟釀清酒「白影泉」に就て

品評會と同等の酒を皆樣へ提供の目的で釀造發賣以來玆に五ケ年銘酒宮の井の姉妹品として特にフーゼル油を含まぬ防腐劑のはいらぬ「純粹の生酒」として眞價を認めて戴きまして年毎に旺盛なる御愛用を賜る樣になりました事は只々感淚に咽ぶ計りで厶います御承知の如く清酒の好みは年一年と進化向上し現在に於てはウマロにして且しつかりとした酒の特長を失わぬ樣美味求眞に向つて步みを運んで居るので有ます幸ひに白影泉は之等の條件を其儘具へて居る上に而も此種の高級酒としては價格に於ても亦全くの割安なのであります弊塲に於きましては常に灘、廣島、其他銘釀各地の代表酒をそれぞれ集めて嚴重なる成分の分析と官能審査による比較研究に努め絕對確信の有るもののみを御愛用に供して居る次第で厶います幸ひ今回特約店鐵屋商店に於て別記の如く紀念大賣出しを致す事となりましたので此機を外さず現品の御買上を賜はり篤と御高評を仰ぎ四季の御贈答は元より御家庭用宴會等凡ゆる塲合に御利用被下樣特に御願ひ申上る次第で厶います。

白影泉
宮の井　釀造元
謹白

店舖改築五週年記念
銘酒白影泉大景品附

大賣出し

本年は弊店舖改築五週年に當りますので平素皆樣方の絕大なる御引立御愛顧に酬ゆるため聊か謝恩の微意を表し度く釀造元と提携の上最高級吟釀酒「白影泉」の大景品附大賣出しを致す事となりました左記特賣規定御一覽の上多少に不拘御買上げ下さいます樣偏に御願ひ申上げます。

▼特賣規定▲

一賣出期間　昭和十年四月一日ヨリ四月末日迄
一賣出方法　白影泉壹升壜詰壹本御買上毎ニ景品券壹枚進呈ス
一抽籤方法　賣出し期間終了後弊店階上ニ於テ廻轉式抽籤機ニテ山崎警察署長山崎新聞社長立會ノ上嚴正ニ抽籤ス
一當籤者發表期日　五月十日附山崎新聞紙上ニテ公表ス
一景品引換　發表後一ケ月以內ニ景品券ト現品引換相渡ス但シ一ケ月以後ハ無効トス

景品種目左ノ通リ

一壹等　本秩父銘仙座布團　五帖　一組
一貳等　上等食卓　一脚宛　三脚
一參等　宣德火鉢　一對宛　五對
一四等　支那鞄　一個宛　八個
一五等　蛇ノ目傘　一本宛　拾本
一六等以下全部空くじ無し

白影泉・宮の井
特約販賣元
山崎伊澤町
鐵屋酒店
電話一三九番

御用命ハ電話一三九ヘ
市內ハ早速配達可致候

山崎福原町辻